

卒琢

(そったく)



豊田南中学校進路だより第32号

令和3年12月13日(月)文責 佐藤 剛



2学期も残すところあと2週間ほどになりました。先週末から、三者面談も始まりました。今回の面談後は「進路決定」になります。だから、冬休み前には、ほぼ全員が志望校が決定していることと思います。今年の冬休みは今までと違うということを自覚し、入試での実力アップを図る最後の大きな機会として全力で取り組んでください。

ここで、少し考えてもらいたいことがあります。それは、あなたが希望している進路先には、豊田南中の生徒だけでなく他校の生徒もたくさんいることです。定期テストでは、豊田南中の生徒だけがライバルでしたが、入試は違います。磐周地区、西部地区さらに県内、県外の他校生がライバルになります。その他校生たちと競って勝負になる取組が、今本当にできているのかを考えてみてください。

《冬休みと冬休みに向けた取組》

9月、11月に実施した学力診断調査では、教科ごとに復習内容を見つけたり、授業や家庭学習への取り組み方を見直したりする機会となったと思います。進路希望の実現に向けて、取り組む学習内容や優先順位をはっきりさせ、冬休みまでの残り2週間と冬休みを有効活用できるよう計画を練って臨むことが大きな「カギ」です。

授業や家庭学習で過去の入試問題を力試しで解く機会があれば、その都度、間違えた問題や理解が不十分だった問題を徹底的に学び直し、ミスの改善と補強を進めていきましょう。自分に合った取組を軌道に乗せてから、冬休みを迎えられるとよいと思います。

最後に、三者面談に関係することで、みなさんにお願ひがあります。

◎提出期限を厳守してください。

面談の中で学級担任から示された提出物(調査書作成資料など)の期限は必ず守ってください。「出願手続き願ひ」の提出も同様です。

◎面談内容をよく理解して、進路決定していきましょう。

三者面談での学級担任からの話は、「進路指導委員会」で学年職員を含む、多くの職員で検討された判断に基づいています。学級担任はその窓口であり、学級担任個人だけの意見を話しているわけではありません。また、学級担任から丁寧に説明しますが、わからないことがあったら、すぐに尋ねてください。その資料がない場合や内容によってはすぐに返答できない場合もあるので、早めに相談してください。

◎面談内容を他の人に言いふらしたり、尋ねたりするのはやめましょう。

志望校の決定にあたっては、成績だけでなく、あなたの目標や適性など、人によってさまざま状況から検討していきます。あくまで個人的なことであり、面談内容を他人に言いふらしたり、他人に尋ねたりすることは避けましょう。

「出願手続き願ひ」についての注意点

今回、面談の中で「出願手続き願ひ」が配布されています。12月21日(火)の朝までに、全員提出してください。この決定をもとに学年で出願準備を進めていきます。「出願手続き願ひ」提出以降に、変更が生じた場合は、「出願手続き願ひ(変更)」を提出しなくてはなりません。すぐに学級担任に申し出てください。